

京都府高等学校体育連盟主催事業における 新型コロナウイルス感染予防対策【専門部ルール】

専門部名： ライフル射撃 専門部
策定日： 令和 4 年 4 月 18 日

1、大会開催の専門部独自条件について

- ・ 1校でも辞退した場合、上位大会予選を兼ねていた場合は中止・延期を検討、予選を兼ねない場合は中止します。

2、大会参加条件について

- ・ 大会参加者に大会2週間前からの健康観察を義務づけ、その間体調に異常があった場合参加は認めない。なお、2週間の健康観察はチェックシートにて行い、大会当日提出していただきます。

3、大会当日の検温における発熱者確認時の対応

- ・ 大会会場において、発熱者が出た場合、速やかに関係者（機関）及び保護者に連絡し、帰宅（受診）を促します。
- ・ 発熱者が、新型コロナウイルスに感染している可能性がある場合は、所属する学校の判断でその後の対応をさせていただきます。
- ・ 「新型コロナウイルスに感染している可能性」については、発熱者の家族等に聞き取りを行い、発熱者の周囲に過去2週間以内に感染者がいなか念入りに確認をとり、学校の責任者と感染予防対策担当者が判断します。
- ・ 顧問は顧問は事前にお渡しする健康観察カードを参加者（部員・顧問・部活動指導員を含む）及び保護者に配布しています。（同意書は部員のみ）
- ・ 顧問が大会当日に健康観察カードを回収し、チェックリストに基づいた健康観察・確認を行います。大会本部にその結果を報告してください。なお、健康観察カード等は園部高校にて保管をします。
- ・ 参加者または家族が以下の事項に該当する場合は、参加の見合わせを求めています。
 - ◇体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛など風邪症状や味覚・嗅覚異常がある場合、だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）、体が重く感じる、疲れやすいなど）
 - ◇新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
 - ◇同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ◇過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

4、大会申込後に出場を辞退する学校がでた場合の対応

- ・ 大会前に、辞退が決定した場合は、参加申込の取りやめとし、参加料は徴収しません。

5、学校応援者・観客について

- ・ 密を避けるため、保護者、部員以外の在校生及び卒業生の応援は原則禁止します。
- ・ 記録者以外観戦できないので、それ以外の人は控室で待機することになっています。
- ・ 観戦中及び競技中以外は必ずマスクを着用することになっています。
- ・ ゴミ（マスクを含む）の持ち帰りをお願いしています。

6、専門部独自の感染症対策について

○ 会場において

- ・ 会場に消毒液を設置します。射場などの施設の出入の際は手洗い（30秒以上）、消毒液による手指消毒をするよう指示しています。
- ・ 競技会場へは必要人数のみ入り、その他の人は控室で待機してください。また、昼食は昼食会場で密を避けて、私語をせず静かに食べることにしています。
- ・ 控室は窓を開放し、密にならないように指示しています。

○ 競技において

- ・ 開閉会式はせずに必要事項のみの連絡にするなど、簡素にします。
- ・ 射座での選手間は1.0m以上を確保し遮蔽物（飛沫防止シート等）を設置します。
- ・ 競技に支障がない限り、窓・扉などを常に開放して外気を取り入れる等の換気をします、
- ・ 複数射群の場合は各射群ごとに射座内共有物を消毒します。
- ・ 射座内においても競技を行っていないときはマスクを着用することになっています。
- ・ 熱中症の予防のために競技中にも水分補給をするよう、指示しています。
- ・ 共有している銃は、グリップ、トリガー、チーク、コッキングレバーなど触れる部分に毎回アルコール等の消毒をしてから次の人が使用することになっています。
- ・ 競技終了後は射座付近に滞留せず、競技会場から早く離れる指示をしています。また、休憩をする場合は競技会場でなく、控室に行くことになっています。

○ 役員・その他において

- ・ 射場役員、スタッフは、熱中症に注意した上で、マスクを常に着用しています。
- ・ 学校責任者は、参加者に会場地までの往復途上における感染防止対策についても指示をしています。
- ・ 大会終了後、役員で施設の消毒をします。
- ・ 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うよう指示しています。